

(別記)

## 令和7年度甲州市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

甲州市は、平成17年11月1日、塩山市、東山梨郡勝沼町、東山梨郡大和村の3市町村の新設合併により誕生した。本市は甲府盆地の東部に位置し、北東側には秩父多摩甲斐国立公園の大菩薩連嶺をはじめとする秩父山系、東部にかけては笹子山系の山並みが連なる急峻な山岳地帯であり、重川、日川、笛吹川及びその支流によって形成された複合扇状地が広がっている。総面積は264km<sup>2</sup>、山梨県の総面積の5.9%にあたる地域で平坦部と山岳部の間の丘陵地帯は複合扇状地で展開するスロープで日当たりの良い東西傾斜南部は沖積層、北部は洪積層である。

耕地は標高350m～800mの間に開けており、気候は内陸型で年間平均降雨量は1193mm程度、降水日数は年平均95日前後、また年平均気温は15.8℃である。このような恵まれた自然条件を生かし、ブドウ、モモ、スモモ、サクランボ等を中心とした果樹栽培を展開している。

### 2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

気候や圃場条件等にもよるが高収益作物への転換。「とまと」、「とうもろこし」、「さやいんげん」を振興品目として拡大する。

### 3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

当市では果樹を地域特例産物としており、果樹交流都市として市の振興策にもなっているため、農地の集積・集約化、基盤整備の状況、担い手・労働力等地域の実情を確認しながら転作を奨励していく。

### 4 作物ごとの取組方針等

#### (1) 主食用米

当市の令和6年度の水田面積のうち水稻作付面積は4.6haで、市内における水稻作農家はほぼ自家飯米農家である。

#### (2) 備蓄米

#### (3) 非主食用米

ア 飼料用米

イ 米粉用米

ウ 新市場開拓用米

エ WCS用稲

オ 加工用米

(4) 麦、大豆、飼料作物

(5) そば、なたね

(6) 地力増進作物

(7) 高収益作物

**5 作物ごとの作付予定面積等**

別紙のとおり

## 5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:  
ha)

作物等	前年度作付面積 等	当年度の 作付予定面積等		令和8年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作	うち 二毛作	うち 二毛作	うち 二毛作
主食用米	4.9ha		4.6ha		4.6ha
備蓄米					
飼料用米					
米粉用米					
新市場開拓用米					
WCS用稲					
加工用米					
麦					
大豆					
飼料作物	0.09		0.09		0.09
	・子実用とうもろこし				
そば					
なたね					
地力増進作物					
高収益作物	4.1		4.1		4.1
	・野菜	1.1	1.1		1.1
	・花き・花木				
	・果樹	3	3		3
	・その他の高収益作物				
その他					
	・〇〇				
畑地化					